

備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

事務事業名	契約管理事業		コード	06-01-06-01
			担当課・係	契約監理課 契約係
			担当者	丸尾 勇司
事業実施期間	平成12年～		電 話	0 8 6 9 - 6 4 - 1 8 1 3
総 合 計 画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行財政運営		
	小項目(施策)	財政（契約監理関係）		

事業について	
目的 （何のために）	市発注の建設工事及び委託業務を適正な価格で発注する。
対象 （誰・何を対象に）	市が発注する建設工事及び委託業務
内 容	入札事務、契約事務、入札参加資格審査業務

事業の結果													
実施項目		17年度				18年度							
		回 数 な ど (単位)				回 数 な ど (単位)							
入札契約件数		368 件				303 件							
入札資格審査取扱件数		2,719 件				2,408 件							
指名・調査委員会開催回数		33 回				27 回							
事業費  (単位：千円)		事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
		直接事業費	242	国県補助金等		直接事業費	208	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
		人件費	20,670	受益者負担		人件費	22,990	受益者負担		人件費		受益者負担	
				市債				市債				市債	
		合計	20,912	一般財源等	20,912	合計	23,198	一般財源等	23,198	合計	0	一般財源等	0
必要人員		2.65 人				3.00 人							
結果指標	結果指標名	入札契約件数				入札契約件数							
	結果指標量	368				303							
	単位	件				件							
	対前年比	－				82.34%				0.00%			
	活動にかかるコスト	10,456,000 円				11,599,000 円				円			
	単位当たりコスト	28,413 円				38,281 円				円			
結果指標	結果指標名	入札参加資格申請				入札参加資格申請							
	結果指標量	2,719				2,408							
	単位	件				件							
	対前年比	－				88.56%				0.00%			
	活動にかかるコスト	4,182,000 円				4,640,000 円				円			
	単位当たりコスト	1,538 円				1,927 円				円			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	限られた財源を活用し発注する建設工事及び委託業務において、適正な価格で契約できるよう公正・公平な入札方法を検討するとともに入札事務の簡素化・合理化を行い、入札契約事務の時間短縮を図る。		
成果指標名	入札契約事務1件当たりの時間	式又は説明	1,928時間×3.00×50%÷件数
		17年度	18年度
成果指標量	7.9	9.5	
対前年比	—	120.25%	0.00%
到達目標値	8	到達目標年度	

事業の目的、対象、  
内容を考えながら目的  
妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たり  
コストに留意しながら  
効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数  
値目標である成果指  
標に留意しながら有  
効性の評価を行って  
下さい。

事務事業の評価			(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 地方自治法	妥当性評価<A～E>	A
		<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	
		<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	限られた財源を活用し、これからも入札契約事務が公正・適正に行われるよう入札方法の検討が必要である。	
		<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A～E>	B
		<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	入札参加資格審査業務は、定時受付年は事務量が増大することになるが事務の簡素化・合理化に努めていくこととする。入札契約業務は、より公正・公平な入札を目指し、現在実施している指名競争入札だけでなく一般競争入札の導入が急務であるが事務量が増大することからコスト高になるものと思われる。	
		<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A～E>	B
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	入札件数は、平成18年度からは減少傾向にあると思われるが平成20年度からの一般競争入札導入を視野に入れ、入札契約事務の時間短縮を図るため事務の効率化、簡素化を検討する必要がある。	

平成19年度の状況				
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説 明	平成20年度からの一般競争入札の導入を目指し、19年度において要領、要綱の整備を行う。	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	350	結果指標量	2,500
	成果指標量	8時間/件		

総合評価		評価区分 < A ~ E >
入札契約事務においては、現在実施している指名競争入札だけでなく、透明性公平性の一層の向上を図るため一般競争入札を導入を検討する。		
		B

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	一般競争入札の導入	平成20年度	透明性・公平性が図られ、談合防止に効果がある。